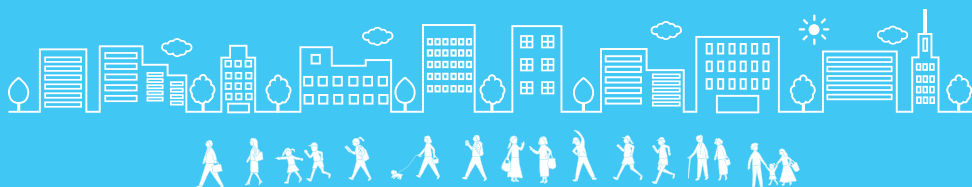


「夢かなうまち おびひろ」

新しい未来をつくる

米沢のりひさ 未来のつくり方 3.0



2022年3月

米沢 のりひさ

帯広のまちづくりの原点は
一人の青年が抱いた 北の大地への「大いなる夢」

それから、140年

「より良いものを より多くつくりたい」

その強い思いが
今日の十勝農業をつくった

「誰よりも 早く滑りたい」

その純粋な思いを 親や学校、地域を挙げて応援し
多くのメダリストを育てた

「十勝・帯広を より良くしたい」

「生まれ育ったまちを 誇れるところにしたい」

そんな 誰もが抱く「思い」に
「天の時」「地の利」「人の和」が重なり
それぞれの「点」が集まり「面」となる

そこに「知恵」や「エネルギー」が注がれることで
より大きな「広がり」へと向かい
「思い」が「かたち」となっていく

私は、4年間、
そんな「思いをかたちに」を積み重ねながら
十勝・帯広の皆さんと一緒に
地域の明るい未来を拓いていきたい



新しい未来をつくる

～ まちづくりの基本方向 ～

「フードバレーとかち」を旗印に、十勝19市町村が思いを一つに歩んできた12年。

この間に、何物にも代えがたい信頼という果実と、農業の群を抜く成長という実績がもたらされ、十勝・帯広は、全国から一目置かれる、存在感のある地域になりました。

帯広市は、東北海道で最大の人口を誇り、道東道など高速道路網の整備に道筋がつく中で拠点性がさらに高まり、着実に、東北海道の雄都、要衝になりつつあります。

ここからの4年間は、これまで3期12年の単なる延長ではありません。

フードバレーとかちを「New Stage」に発展させ、コロナ後の「新しい未来」をつくり、十勝・帯広の持続的発展への大きな方向づけをする、大切な時間です。

変化が激しい時代にコロナ禍が加わる難しい状況の中で、まちづくりの舵取りを担っていくため、私は、これまで培ってきた経営感覚と、日々の研さんやたゆまぬ努力、経験に基づく判断力と行動力を最大限に発揮します。

十勝・帯広の新しい未来をつくり、「夢かなうまち おびひろ」を実現するために、全力を尽くしていきます。

まちづくりの基本姿勢

まちづくりを進めるうえでの、私の視座は、常に「すべての市民の幸せ」にあります。

市民の皆さんと語り合いながら、「一党一派に偏しない市民党」の立場で、まちづくりの最適解を求め、行動してきています。

これまで3期12年にわたって貫いてきた基本姿勢で、これからもぶれることなく、まちづくりを進めていきます。



「食で価値をつくるまち」

「フードバレー」十勝・帯広の価値や存在感をさらに高めるため、食の備蓄・物流拠点構想の促進のほか、地域資源を活かした事業創発への支援などに取り組みます。

- 1 広域交通ネットワークでの優位性を踏まえ、「食の備蓄・物流拠点おびひろ」構想を促進します。
- 2 十勝・帯広の地域資源を活かした新たな事業創発を支援します。
- 3 企業や関係機関と連携し、社会人などの「学び直し」を支える環境づくりを進めます。
- 4 ワーケーション誘致やファン開拓、ふるさと納税などを通じて、関係人口を拡大し、地域の新たな価値づくりを進めます。



また、学校給食を通じた食育の推進など、「食」をもとに市民の健康や愛郷心、地域の文化を育む取り組みを進めます。

5 生産者や企業、専門家などと連携し、「おびひろの『おいしい』給食」プロジェクトを推進します。

6 市民や企業、関係機関と連携し、食をはじめ観光やスポーツ、みどりなど様々な分野で「健康」の視点からの取り組みを進めます。



「森と公園に暮らすまち」

帯広の森の次なる利活用や緑ヶ丘公園の価値向上のほか、帯広少年院跡地の方向性の検討などに取り組み、市民の心豊かな暮らしや魅力的で特色ある都市の実現につなげます。

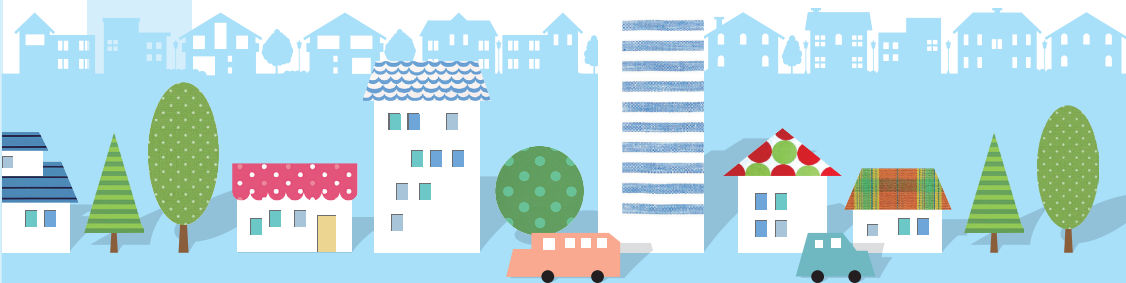
- 7 次なる50年の帯広の森づくりへ、市民の日常生活に根ざした利活用のあり方を描き、市民協働の取り組みを進めます。
- 8 帯広少年院跡地の土地利用を方向づけ、国などと協議を進めます。
- 9 緑ヶ丘公園に新たな価値や魅力を加える検討を進めます。
- 10 中心市街地などで、人間中心の「歩ける空間」づくりを進めます。



「環境・デジタルで輝くまち」

これまでの「環境モデル都市」の取り組みを、「ゼロカーボン」の新たな段階へ発展させるとともに、デジタルの力を活用して地域課題の解決に取り組み、個性あふれるまちの実現につなげます。

- 11 「2050年ゼロカーボン」に向けた戦略を描き、地域の特性を活かした脱炭素の取り組みを進めます。
- 12 「デジタル田園都市おびひろ」を目指し、暮らしや産業、行政などでのデジタル活用策の全体像を描き、企業などと連携し取り組みを進めます。
- 13 企業などと連携し、^{マース}MaaSや自動運転などの新しい移動サービスの実証、実装を進めます。
- 14 企業や専門家などと連携し、ICTを活用した多彩な授業づくりを進めます。



「未来を信じるまち」

十勝や東北海道での連携強化のほか、帯広市第7期総合計画の着実な推進などに取り組み、前向きな「未来を信じる人」たちが暮らし集まる、持続可能なまちの実現につなげます。

- 15 十勝管内はもとより、東北海道の中核都市などとの連携を一層強化します。
- 16 第7期総合計画の着実な推進を図ります。
- 17 新型コロナウイルス感染症から市民の生命と暮らし、地域経済を守ります。



あおあお ひろひろ いきいき

米沢のりひさ連合後援会

〒080-0013 帯広市西3条南6丁目20番地(旧商工中金ビル)
TEL 0155-26-7100・FAX 0155-26-8858